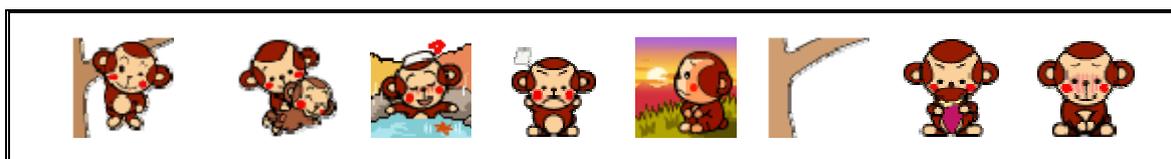


Windows7の普及に伴い、メールの使用は必然的に Windows Live メール に変わってまいりました。慣れないソフトを使いこなすのは、我々の世代になると次第に面倒になり、億劫になるのは止むを得ないところですね。

しかし折角のパソコンです。少しずつでも覚えて、Windows Live メールを縦横に活用するのも、また、楽しみなものです。囲碁の上達はもちろんのことですが、パソコンの活用範囲が増え頭脳の活性化が図れば、より愉快的パソコンライフが過ごせるのではないのでしょうか。そんなことを思い、富士通（株）のメルマガから、そっくりノウハウをいただいて掲載させてもらうことにしました。

皆様、つぎのパソコンは是非とも富士通製品をご愛用くださるようお願い申し上げます。



らくらく Windows Live メール活用術(1)

自動整理で読みたいメールがすぐみつける！



Eメール(以下、メール)は、いまでは毎日の生活に欠かせないツールですが、基本の送受信機能のみをお使いの方も多いのではないのでしょうか？

実は、メールソフトには知っておくと便利な「一步すすんだ使い方」があるんです。

今回は Windows Live メール の、そんな「一步すすんだ使い方」についてご紹介します。

Windows Live メールを使おう

Windows Live メールは、2010 年春モデルから富士通のパソコンに標準でインストールされています。最新版の「Windows Live メール 2011」は、2010 年 9 月より日本マイクロソフト株式会社から公開され、10 月より Windows 7 のアップデートにより自動更新で提供されています。

それ以前のモデルをお使いの方は、下記 URL から無料でダウンロードできる「Windows Live Essentials」のソフトのひとつとして、インストールできます。

- [Windows Live ダウンロード](#) (日本マイクロソフト株式会社のサイトを開きます)

Windows Liveメールの初期の設定方法については、下記の Q&A をご参照ください。

- [\[Windows Live メール\] メールを送受信するための設定の方法を教えてください。](#)

また、Outlook Express や Windows メールなど他のメールソフトからの移行方法については、下記のサポートページをご参照ください。

- [メール移行ガイド](#)

(注)Windows XP をお使いの方は、前バージョンの「Windows Live メール」をお使いください。

(注)Windows XP に対応した Windows Live メールでは、メール文に挿入した写真のトリミングなど一部機能が使えません。

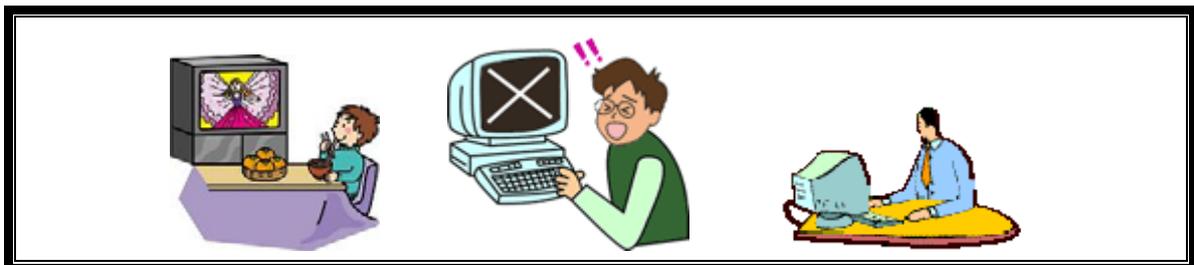
- [Windows XP 用 Windows Live メール](#)(日本マイクロソフト株式会社のサイトを開きます)

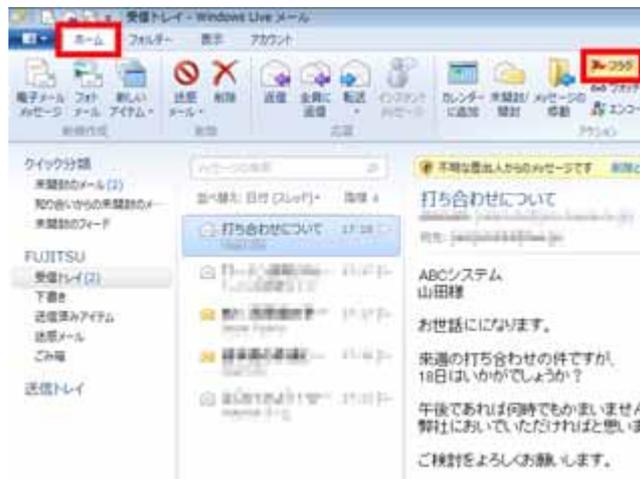
受信したメールを効率よく操作・管理しよう

たくさんのメールを受信するようになると、いざ必要なメールを探し出そうとしてもなかなかみつからないことがあります。重要なメールにマークを付けたり、内容によってフォルダーに分けて整理するなどして、効率よく管理しましょう。

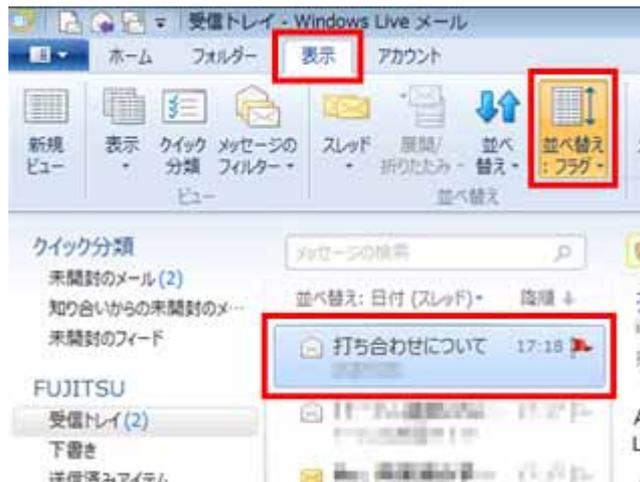
大切なメールにマークを付けよう

受信したメールには、「フラグ(旗)」を付けることができます。フラグを付けたメールには、赤い旗のマークが表示され、大切なメールがひと目でわかります。さらに、フラグの付いたメールと付いていないメールで分けて並べ替えることができます。





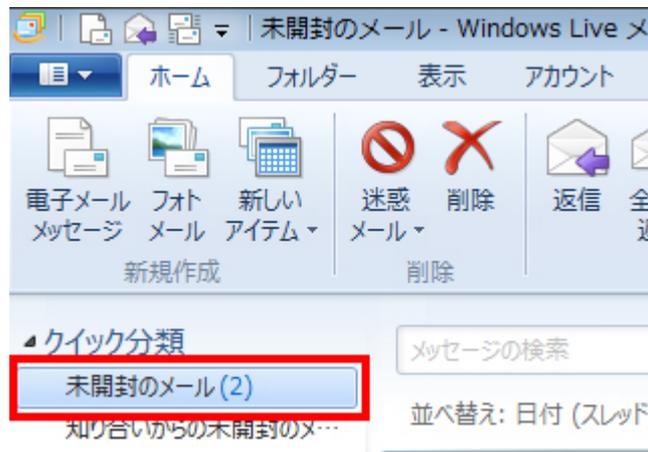
フラグを付けたいメールを選択し、「ホーム」タブの「フラグ」ボタンをクリックします。



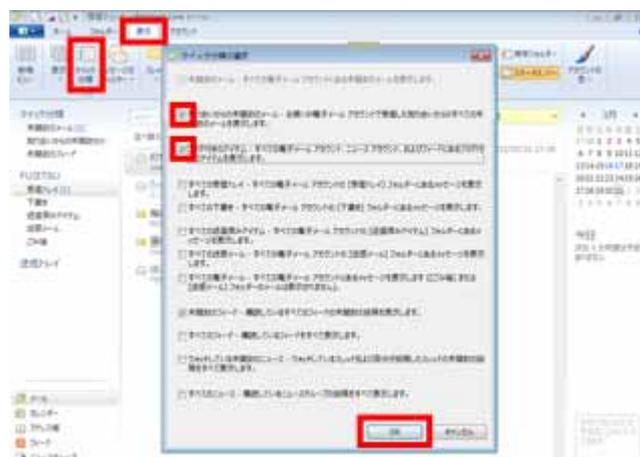
メールにフラグが付きしました。「表示」タブの「並べ替え条件」ボタンをクリックし、「フラグ」を選択すると、フラグが付いているメールと付いていないメールで並べ替えられます。

大切なメールは素早くチェックしよう

「クイック分類」を利用することで、未開封のメールだけをまとめて表示させることができます。すぐ読む必要があるメールだけを絞って表示できます。



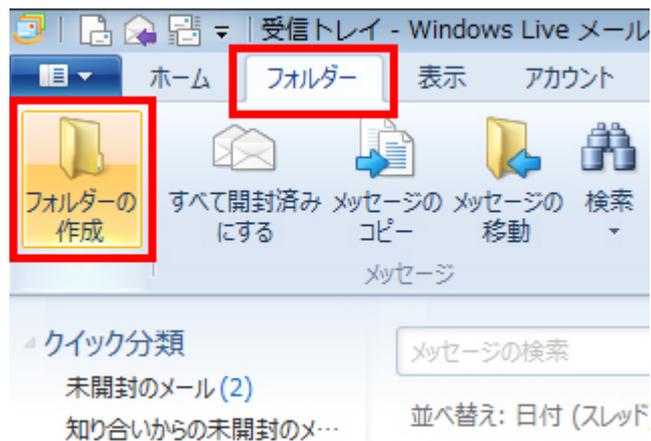
「クイック分類」から選択することで、必要な情報だけをまとめて表示できます。
ここでは「未開封のメール」を選択しました。



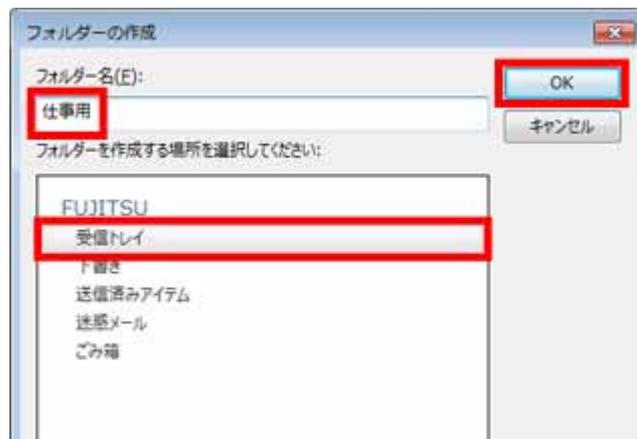
「表示」タブの「クイック分類」ボタンをクリックすると、「クイック分類の選択」ウィンドウが開きます。「クイック分類」として表示したいものにチェックを付けましょう。

フォルダーを作成して、メールを整理しよう

メールの数が増えてきたら、内容ごとに分類するためのフォルダーを用意しましょう。仕事用、プライベート用などのフォルダーを作成し、そこにメールを移動することで、メールを整理できます。さらに、差出人や見出しのキーワードを設定して、自動でメールを仕分けることもできます。

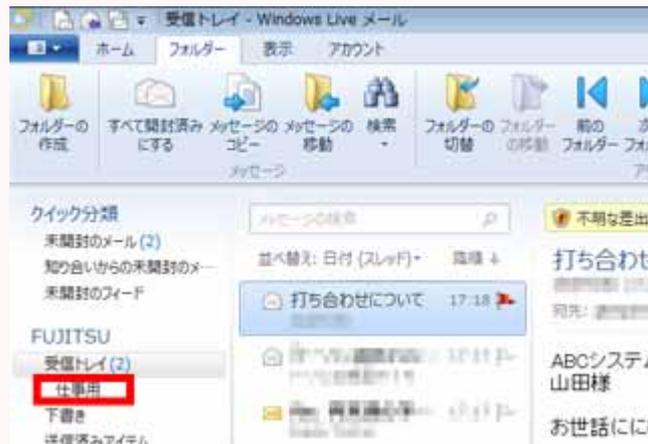


「フォルダー」タブの「フォルダーの作成」ボタンをクリックします。



「フォルダー名」を入力し、フォルダーを作成する場所を指定して「OK」をクリックします。





指定した場所にフォルダーが作成されました。メールをこのフォルダーにドラッグすると移動することができます。

メッセージルールを設定すると、メールを自動的に指定したフォルダーに振り分けることができるようになります。



「フォルダー」タブの「メッセージルール」をクリックします。



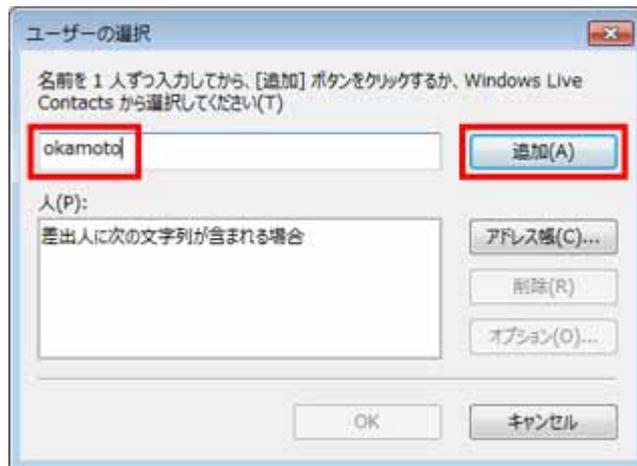


「新規のメールルール」ウィンドウで、条件とそれに対するアクションを選択します。ここでは、ある条件を満たす差出人からのメールを指定したフォルダーに移動するよう設定しています。

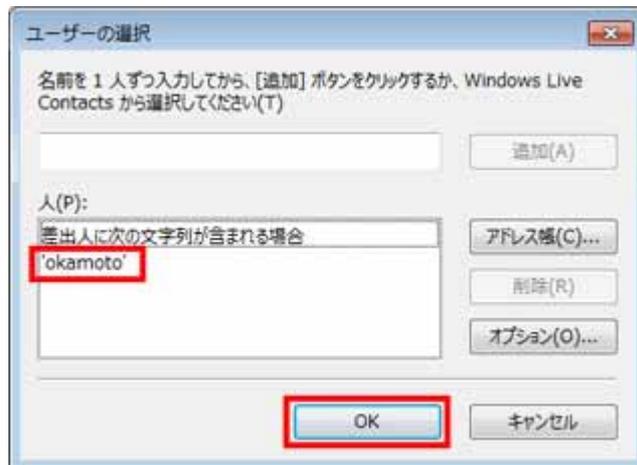


細かい設定をします。「この説明を編集するには、下線付きの単語をクリックしてください」で、下線付きの単語をクリックします。まずは差出人の設定をするので、「ユーザーが含まれる」をクリックします。



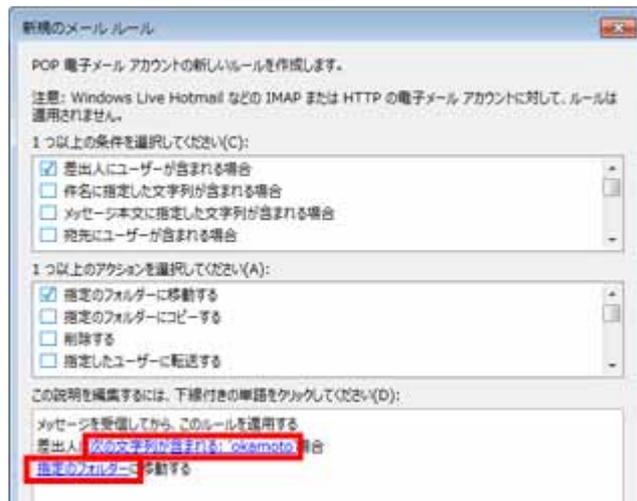


差出人の条件を設定します。ここではメールアドレスに「okamoto」という文字列が含まれる差出人を選択するよう設定します。上の欄に文字列を入力し、「追加」をクリックします。

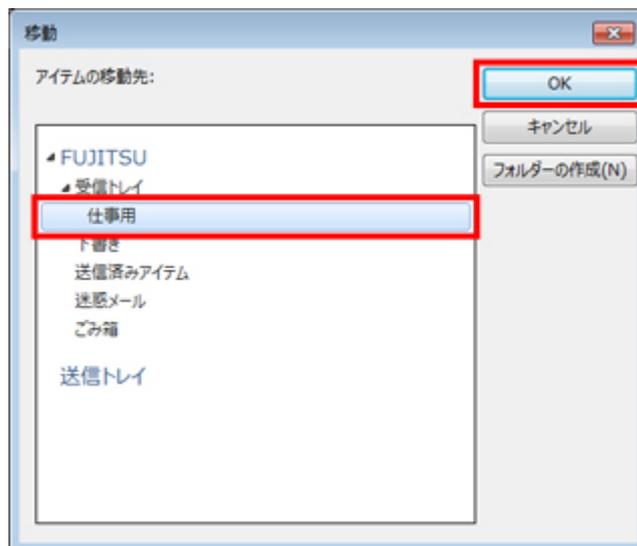


「人」欄に条件が追加されたら、「OK」をクリックします。



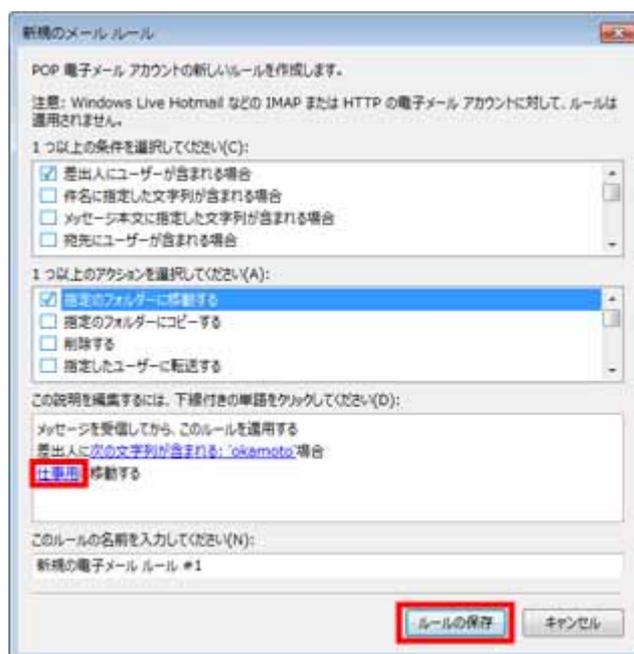


差出人部分の設定が、「次の文字列が含まれる:'okamoto」に変更されました。次に移動するフォルダーを指定します。「指定のフォルダー」をクリックします。

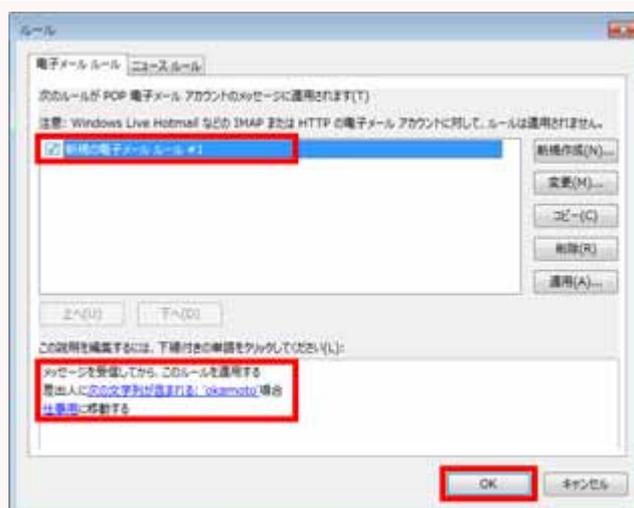


移動先のフォルダーを選択し、「OK」をクリックします。ここでは「仕事用」フォルダーを選択しました。





移動先のフォルダー部分の設定が、「仕事用」と指定したフォルダー名に変更されたのを確認し、「ルールの保存」をクリックします。



ルールの内容を確認し、「OK」をクリックします。以降、差出人のメールアドレスに「okamoto」という文字列が入っているメールは、自動的に「仕事用」フォルダーに移動されるようになります。

メールの写真やイラストを表示しよう

届いたメールを開くと、「このメッセージの一部の画像は表示されません」といったメッセージが表示され、メールのレイアウトが崩れていたり、画像が表示されなかったりすることがあります。これは、Windows Live メールが、安全のために設定している機能です。

メール本文に画像を埋め込んだり、文字に飾りを付けたりすることができるメールを HTML メールといいます。さまざまな表現がメール上で可能になるので、とても便利です。しかし、このしくみを利用して、受信者の情報を差出人に勝手に送ったり、ウイルスに感染させたりする悪質な迷惑メールもあります。

そのため、最近のメールソフトでは、初期設定で画像が表示されないようにブロックしているものが多いのです。けれども、信頼できる差出人からのメールなら、きちんと画像も表示したいですね。

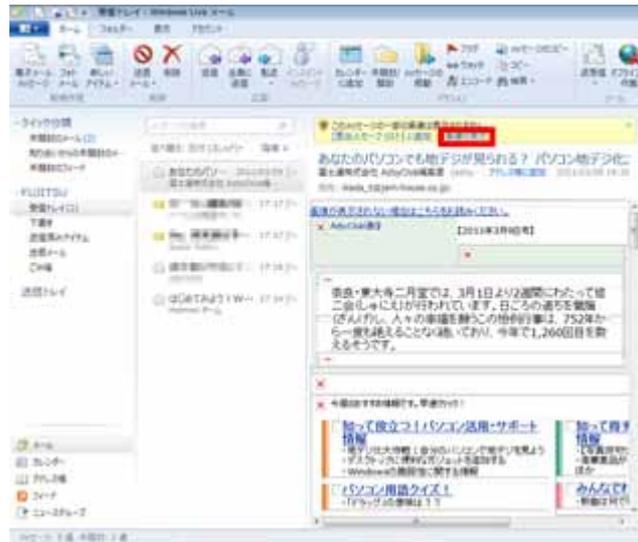
HTML メール画像を表示しよう

HTML メール差出人が信頼できる場合には、メールの上部にある「画像の表示」をクリックすることで、メールの画像を表示することができます。また、「セーフリスト」に登録することで、今後同じ差出人からのメールは、最初から画像を表示させることができます。

なお、Windows Live メールは、自動的に迷惑メールを判定し、「迷惑メール」フォルダーに移動してくれる機能を持っています。迷惑メール判定の処理レベルは選択することができるので、自分の使用環境に合わせて設定し、あらかじめ怪しいと思われるメールは、間違っただけで開いてしまわないように受信トレイに表示

されないようにしておくといいでしょう。迷惑メール対策については、下記を参照してください。

- [「トラブルを未然に防いで快適に！迷惑メール スッキリ撃退術」](#)

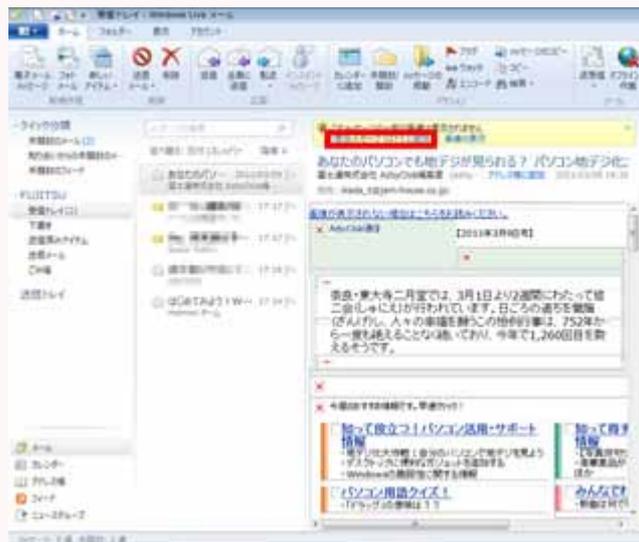


「画像の表示」をクリックします。



画像が表示されます。





「[差出人セーフリスト]に追加」をクリックすると、この差出人が差出人セーフリストに登録され、以降は自動的に画像が表示されるようになります。

らくらく Windows Live メール活用術(2)

自動整理で読みたいメールがすぐみつかる！

目的のメールを素早く探そう



検索機能を使えば、キーワードの入力などで目的のメールを探し出せます。

Windows Live メールには、「メッセージの検索」と「テキストの検索」の2つの検索方法が用意されています。メールを探し出すのが「メッセージの検索」、メール本文の中で一致する文字を探し出すのが「テキストの検索」です。

メッセージの検索機能でメールを探そう

差出人や宛先、件名などから一致するメールを検索するのがメッセージの検索です。さらに受信した日時を指定しての検索も行えます。

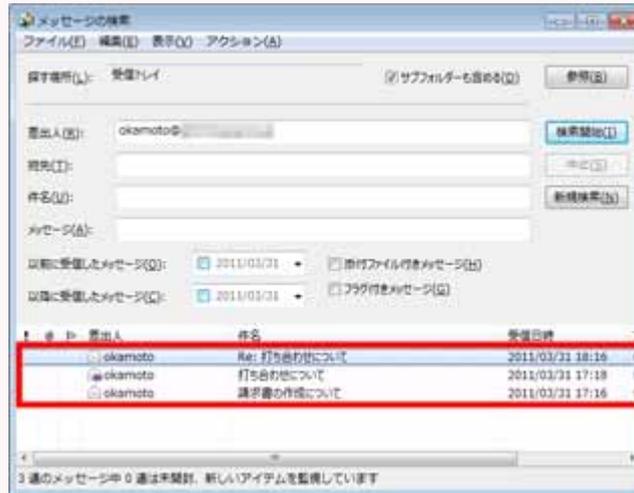


「ホーム」タブの「検索」ボタンをクリックし、「メッセージ」を選択します。



「メッセージの検索」ウィンドウで、検索するメールの条件を指定し、「検索開始」ボタンをクリックします。





検索結果が下部に一覧表示されます。目的のメールをダブルクリックすると内容を確認できます。

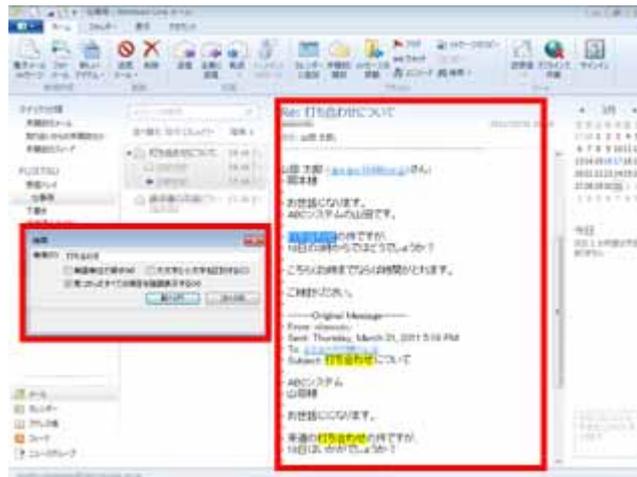
テキストの検索機能でメールの中を探そう

キーワードを入力して、メール本文の中の言葉を探し出すのがテキストの検索です。メールの中から必要としている部分を見つけられます。



検索したいメールを選択した状態で、「ホーム」タブの「検索」ボタンをクリックし、「テキストの検索」を選択します。





「検索」に探し出したい文字列を入力すると、検索結果が表示されます。複数ある場合は、「前へ」「次へ」をクリックすることで、別の検索結果へとジャンプすることができます。

写真入りのメールを送ろう

旅先の写真などをメールと合わせて送ってみましょう。文字だけのメールとはひと味違う、楽しいメールになります。

デジタルカメラの写真を送信しよう

元気な子どもの写真や旅先で撮った美しい写真など、お気に入りの写真が撮れたら、親戚や友達にすぐ見てもらいたいものです。パソコンに保存したデジタルカメラの写真データは、メールに添付して送ることができます。

また、HTML メールであれば、メール本文に写真を入れることもできます。

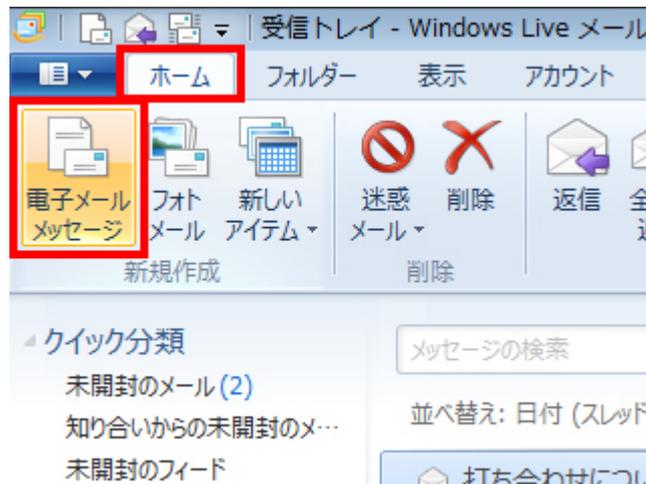
ただし、前ページで解説したように、メールソフトによっては初期設定でHTMLメールの画像が表示されないようにブロックしているものもありますので、事前に相手先の環境について確認しておきましょう。

なお、メールで写真を送信する際には、写真のファイルサイズに気をつけましょう。あまり大きなサイズのファイルをメールで送信してしまうと、相手側の使用しているプロバイダーによっては受信できなかったり、受信できたとしても、とても時間がかかってしまうことがあります。

詳細につきましては、下記ページを参照してください。

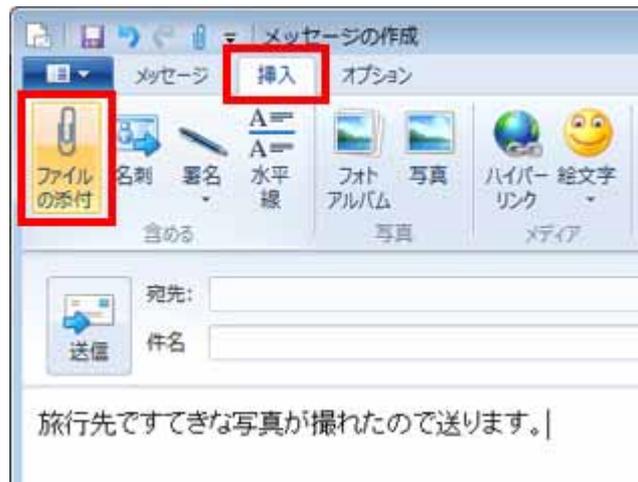
- [マナー違反していませんか？知っているようで知らないメールのマナー](#)

メールに写真の画像ファイルを添付する

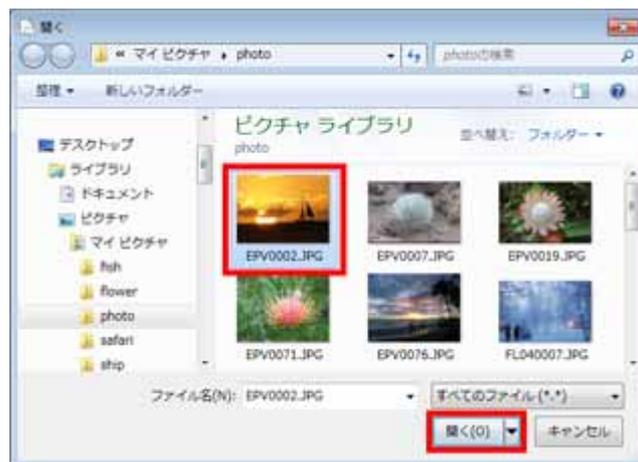


Windows Live メール の「ホーム」タブで、「電子メールメッセージ」ボタンをクリックします。



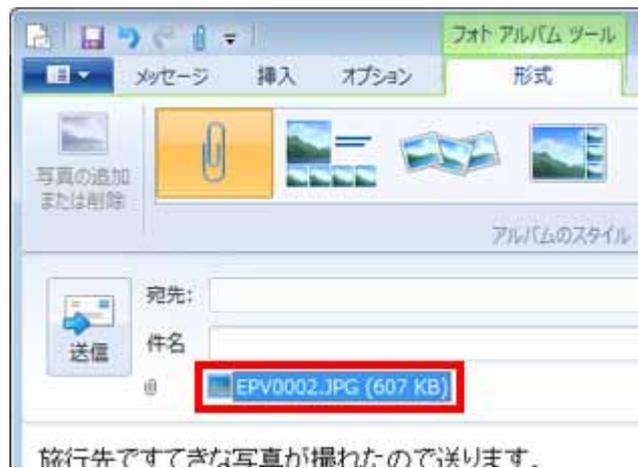


「挿入」タブの「ファイルの添付」ボタンをクリックします。



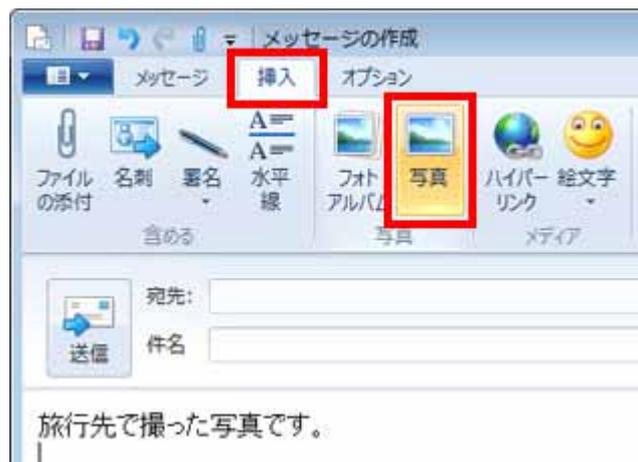
「開く」ウィンドウで添付したい写真を選択し、「開く」をクリックします。





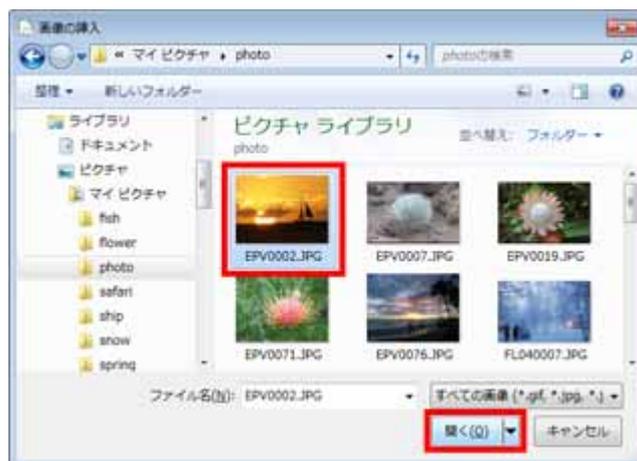
ファイルが添付されました。

メール本文に写真を貼り付ける

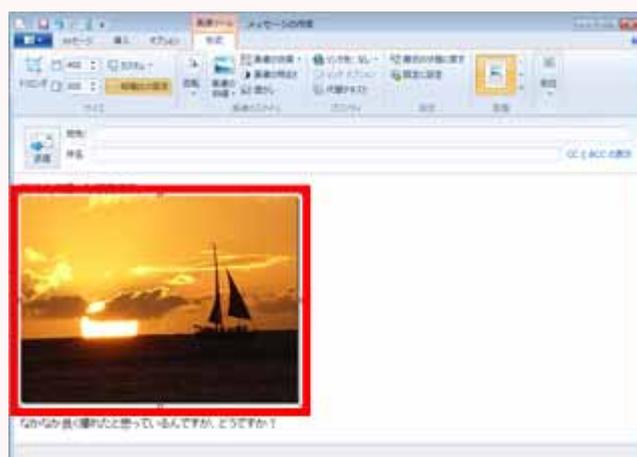


「メッセージの作成」ウィンドウで、「挿入」タブの「写真」ボタンをクリックします。





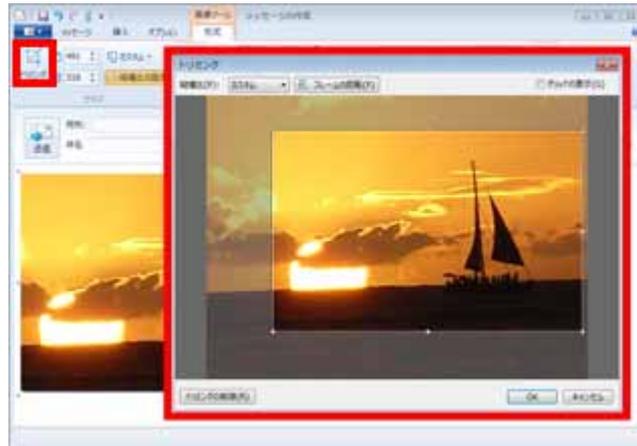
「画像の挿入」ウィンドウで挿入したい画像を選択し、「開く」をクリックします。



メール本文中に画像が挿入されるので、大きさを調整します。画像は複数挿入することも可能です。

メールに挿入した写真を編集しよう

メールに挿入した写真は、修整や加工ができます。写真の見せたいところだけを切り抜いたり、枠線を付けたりできます。



写真を切り抜くには、「トリミング」ボタンをクリックします。「トリミング」ウィンドウが開くので、トリミング位置を指定して「OK」をクリックします。



メールに挿入されている写真がトリミングされました。



「画像の枠線」ボタンでは、写真に枠線や影を付けたり、角を丸くしたりといった編集が行えます。

まとめ

Windows Live メールには便利な機能がたくさんあるので、ぜひ使ってみてください。

メールの分類や整理の方法は、ビジネスでも活かせるテクニックですし、写真入りのメールを活用すれば、友達とのコミュニケーションがもっと楽しくなるでしょう。

提供：富士通株式会社

編集：ライター千遥

～ おわり ～